

「可能性に目覚める力を育てる」



1. 見立てる力、無意識の中に起こる力
    - ・ Cabbage と書くとそう見える  
(豚、下着を丸めたもの、地図、葉脈、女性の下着)  
頭に詰まったイメージを総動員  
→凝り固まってつまらないものになってしまう→どうやって開くか
  2. 観察し、発見し、利用する力
    - ・ 円グラフ：円の大きさ、色の割合で様々なものを表現(ドラえもんの登場人物、お茶漬けのり、カスタネット、鉛筆と消しゴム、握り寿司、ベント、花とミツバチ 消火器 etc.)  
色彩の記憶 抽象の世界から具象に引き出す。観察して表現する技術
    - アート：主体の意思が強い 私はこう表現したい 他者と向き合って決然と表現する
    - デザイン：観察して表現 対話的
  3. 未知化する力 →目についた鱗をとる力 初期化する
    - Ex-formation : make things unknown 初めて見たかのように感じさせる
    - Information : Make things known
    - ・ 背理法的に理解する
    - A：はだか (Naked) リカちゃん人形は平均→恥ずかしくない O脚 太る←恥ずかしくなる
    - B：パンツプロジェクト (いろいろなものにパンツをはかせる 洗濯ばさみ コンセント etc)
    - C：WOMAN (おんな) 多様性 産む性  
武器の表面に小花模様をちりばめる (トマホークミサイル、マシンガン、手りゅう弾)  
カラーで見るときれい モノクロは怖い  
岡倉天心「花がないと人間は生きて死んだりしにくい」美しい はかない 悲しみを埋める
    - D：東京 東京付近200人くらいの平均的の顔立ち→マスクを作り被って写真を撮る  
カラーでカモフラージュ 歌舞伎町(看板)、浅草、丸の内(路面、タクシー)
  4. 可能性に目覚める力
    - ・ 閉鎖的な未来 子どもは日本人が感じる日本の未来に敏感  
大きな可能性を持つということを大人が考えなければならない
    - GLOBAL 経済用語 資本、技術、を地球全体として一つのものだと考える
    - LOCAL グローバルな文化はない ローカルのすばらしさを保ったまま世界に提示する
    - Emptiness と simplicity  
シンプル：近代の合理性の中で180~150年前生まれる
    - ・ 古代は複雑性の中にあつた 王様の権威を表現する 渦巻等の複雑文様で埋め尽くされている  
中国曼荼羅 タージマハル象嵌 モスク唐草文様 ベルサイユ宮殿 教会の権力 王権
    - ・ 近代=市民社会 一人一人が主役 社会は一人一人がいかに生きるかを考える場  
シンプルイズ ベスト
    - ・ 日本：西洋が生み出したシンプルシティより350年以上前にたどり着いていた  
世界中の影響を受ける(正倉院宝物)  
応仁の乱(室町時代後期)10年にわたる戦乱 文化的喪失  
足利義満 銀閣寺建立 簡素 障子 畳 和室(書院)の源流  
禅寺の庭 屏風絵 生け花 能 俳句 茶の湯 禅
    - ・ 簡素であること 何もないこと 多様なイマジネーションを受け止める
    - ・ 日本の可能性を世界の流動性、世界の移動人口が増加の一途をたどる中で見出だしていく
- イマジネーションに目覚める  
幼少期に感じる社会の雰囲気は未来を創っていく、感受性にとって重要である。大人が社会の未来に希望を持っているか、子どもたちが拓いていく未来の可能性を作ってもらえたらと思う。